

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟規則第162条の5.の（C）により、音声や動作その他の方法（ピク付き動作を含む）で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、800m未満の種目とフィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、800m以上の種目および三段跳は25mm以内とする。また、競歩競技は40mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- ④競技前、競技中、競技後に、競技靴などについて疑義が生じた場合、審判長は点検することができる。

2. 来場について

- ①原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がない者の来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

3. 練習について

- ①本競技場での練習は、開門（8時）からトラック種目及び砲丸投のみとし第1競技開始15分前までとする。
- ②第2競技場での練習は、開門（7時）からトラック種目のみとする。ただし、投擲種目は次の通りとし、監督がつかない場合は認めない。

1日目・2日目 投擲練習なし

3日目 8:00～8:25 男子やり投、8:25～8:50 女子やり投

4日目 7:30～8:10 女子円盤投、8:10～8:50 男子円盤投

投擲練習中は投擲選手以外フィールド内に立ち入ることは出来ない。また、砲丸投は2日目のみ本競技場で行い、ハンマー投及び混成競技の投擲種目は競技開始前の現地のみとする。

- ③練習は本競技場、第2競技場ともに次の通りを行う。

1～2レーン周回練習、3～6レーン短距離・スピード・リレー練習、7～8レーンハードル練習

ただし、トラックでのジョギング及び集団走は禁止とする。また、状況に応じて変更する場合がある。その際は練習会場系の指示に従うこと。

- ④棒高跳・ハンマー投の練習は本競技場開門後、競技役員の指示に従って実施すること。
- ⑤競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習（特にチューブによる牽引走やメディシンボールの投擲）は原則禁止とする。
- ⑥第2競技場での練習は選手のみとし、集団練習は禁止とする。
- ⑦第2競技場開門の7時以降は園路での練習を禁止とする。
- ⑧競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止する。
- ⑨雨天練習場は、原則として使用禁止とする。

4. 競技場について

- ①本競技場・第2競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。（競技規則143条）
- ②スパイクのピンは全天候舗装の競技場で使用できるものとする（土用ピンは使用禁止）。

5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集開始及び完了時刻はプログラムの競技日程欄を参照すること。
- ③招集は、定められた時間以内に招集所で、競技者自らがアスリートビブス、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受ける。以上をもって招集を完了とする。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したもものとして処理する。

種目	招集開始	招集完了
トラック競技	40分前	30分前
走高跳・走幅跳・三段跳	70分前	60分前
砲丸投・円盤投・男子ハンマー投げ・やり投	70分前	60分前
女子ハンマー投	現地	-
棒高跳	現地	-

◎混成競技の第1種目の招集開始及び完了時間は下記の通りである。ただし、2種目目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控え所（第2救護室）で行う。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
混成第1種目（トラック）	4 0 分 前	3 0 分 前
混成第1種目（フィールド）	5 0 分 前	4 0 分 前

- ⑤ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。
- ⑥ 招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、審判の指示に従い公式練習を開始する。また、競技開始前に現地で点呼を受ける。（棒高跳びとハンマー投げは除く）
- ⑦ リレー種目は、「10. リレー種目について」に記載する。

6. 棄権について

出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所で配布する【欠場届】を招集所競技者係に提出する。

7. 入退場およびコーチングエリアについて

- ① メインスタンドおよび芝生スタンドには、正面スタンド裏側および第1ゲート（フィニッシュ地点前方）と第3ゲート（200mスタート地点）から入退場し、競技役員・その時間の競技に出場する選手・補助役員・主催者が許可した者以外はグラウンドには立ち入らない。
- ② 競技者の入退場は次のとおりとする。
- 400m・800m・1500m・400mH・3000mSC・4×400mR・Aゾーン使用のフィールド競技
 - ・ 第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用し、入退場する。
 - 走幅跳・三段跳
 - ・ 正面玄関より入退場する。
 - 4×100mR
 - ・ 1・2走者が第1ゲート（フィニッシュ地点前方）、3・4走者が第3ゲート（200mスタート地点）より入場する。退場は、第1・3ゲートとし、芝生スタンドに上がり各ゲートへ移動する。なお、衣類等の輸送は、各校で行い、スタンドおよび場外を通行する。
 - その他の種目
 - ・ 第3ゲート（200mスタート地点）から入場し、トラック競技は第1ゲートより退場、フィールド競技は第3ゲートより退場する。スタート地点に戻る場合は、芝生スタンドを通行する。なお、衣類等の輸送は、各校で行い、スタンドおよび場外を通行する。
- ③ 混成競技に出場する選手が混成控え所（第2救護室）に向かう際は、配布されたIDカードを着用して、正面玄関より入場すること。IDカードは第1種目の現地招集時に配布する。
- ④ コーチングエリアを6か所設置する。（メインスタンド2カ所・両サイドスタンド1カ所ずつ・バックスタンド2カ所）コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ⑤ 更衣室の使用は女子のみとする。更衣室は更衣のみに使用する。

8. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- ① アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさでユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ② トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。
- ③ 競歩種目は、招集所で特別アスリートビブスを受け取り使用する。競技終了後ゴール地点で返却する。

9. トラック競技の抽選・番組編成について(レーン順・試技順)

- ① トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- ② トラック競技の決勝の組、走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。
- ③ 混成競技の、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は、主催者が抽選しプログラムに示す。

10. リレー種目について

- ① リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。
- ② リレー種目に出場するチームは、各招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、準決勝・決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し予選に準じて招集完了時刻1時間前までに提出すること。
- ③ リレー種目に出走する4人の選手は、4人揃って招集開始から完了時刻までに招集所にて招集を受ける。
- ④ リレー種目に出場するチームは、原則同一ユニフォームで参加しなければならない。

11. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定（1／100秒）で行う。

12.トラック競技の準決勝・決勝進出について

①400mまでの種目及びリレー種目

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定出来ない場合は、同タイム者、チームまたは代理人によって抽選する。

②800m・1500m・3000m・5000m・3000m S Cの同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

13.走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

種目	練習						
男子 走高跳	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 3	~ 3 c m	
女子 走高跳	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 5 8	~ 3 c m	
男子 棒高跳	3 m 7 0	3 m 8 0	4 m 0 0	4 m 2 0	4 m 3 0	~ 10 c m	
女子 棒高跳	2 m 3 0	2 m 4 0	2 m 6 0	2 m 8 0	2 m 9 0	~ 10 c m	
男子 混成走高跳	1 m 3 5	1 m 4 0	~ 5 c m	1 m 7 0	1 m 7 3	~ 3 c m	
女子 混成走高跳	1 m 2 0	1 m 2 5	~ 5 c m	1 m 4 5	1 m 4 8	~ 3 c m	

◎第1位及び南関東大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

○混成競技は選手の申告によって、また、天候、その他の条件で変更する場合もある。

14. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、跳躍審判員に提出する。

15. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる（検査は現地で行う）。

16. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、レースを中止させることがある。

ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子5000m	18分	女子3000m	13分
男子5000mW	27分	女子5000mW	33分

17. 入賞及び得点について

①入賞は8位までとする。南関東大会の出場権は6位までの入賞者とする。ただし、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名とする。また、混成競技・競歩競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者とする。ただし、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。

②学校対抗得点は1位8点・2位7点・3位6点…6位3点・7位2点・8位1点とする。

③各種目合計得点により男女別学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする）

18. 表彰について

①開会式（優勝旗返還式）を第1日目9:00より行う。優勝旗返還該当校は優勝旗を準備すること。

②各種目8位までに入賞した競技者及びチームは、競技終了し、競技結果通告後、ただちに入賞者の紹介を行うので表彰控え場所に待機していること。

③学校対抗表彰は男女8位までを閉会式で表彰する。

19. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品の持ち込みは、規定に抵触するので慎むこと。

①上半身の衣類 製造会社名/ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。

②下半身の衣類 製造会社名/ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名/ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。

③バック・タオル（ブランケット含む）
製造会社名/ロゴ：1個・最大40cm²まで文字高さは5cm以内

④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）
製造会社名/ロゴ：1個・最大6cm²まで文字高さは3cm以内

20. 抗議について

競技規則第146条による。

21. 補助役員について

- ①競技開始30分前までに第1ゲート（フィニッシュ地点前方）外に集合する。
- ②補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。

22. 清掃について

- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。
- ②各地区常任委員清掃（消毒含む）分担箇所（下記の場所を責任を持って清掃すること）
 - ・第1支部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（スタート側）
 - ・第2支部 芝生スタンド・競技場内（走路）
 - ・第3支部 競技場周辺・第2競技場
 - ・第4支部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（フィニッシュ側）◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。

23. 開門・場所取りについて

①本競技場

開門は8時とする。各地区に割り当てられた場所の指定された入場場所から、各校代表者2名以内が入場する。割り当てられた場所への入場が終了後は、自由とする。 *更衣室は控え場所として使用しない。

- | | | |
|-------|---------------------|-----------------------|
| ・第1支部 | （場所） スタンド裏100mスタート側 | （入場） スタンド裏100mスタート側入口 |
| ・第2支部 | （場所） スタンド裏中央 | （入場） スタンド裏中央 |
| ・第3支部 | （場所） 駐車場側通路 | （入場） 正面玄関前 |
| ・第4支部 | （場所） スタンド裏フィニッシュ側 | （入場） スタンド裏フィニッシュ側入口 |

②その他場所取り

- ・第2競技場内・16号側緑地帯・モノレール下緑地帯（以上、テント等設置可）、芝生スタンド（シートのみ）

③諸注意

- ・①②に記載された場所以外の場所取りは禁止とする。
- ・各校のテント・シート等の控え場所は1か所限定とする。ただし、芝生スタンドは含まない。
- ・芝生スタンドにはテント、ターフ等の設置をしない。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。

24. その他

- ①競技会で発生した傷病は主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド下フィニッシュ付近に置く。
- ②横断幕・のぼりの設置を希望する学校は、初日の8時に第3ゲート（200mスタート地点）外側に2名以内で集合し、入場順の抽選を行う。設置場所はメインスタンド・芝生スタンドともに最上段手すりのみとし、テープ類は用いず紐等でしっかりと固定し、各校で責任をもって管理する。設置後は、最終日までそのままかまわない。
- ③各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。競技場内はいっさい認めない。ただし、テントの骨組みだけは第2競技場に、第1競技場に設置した横断幕・のぼりは置いて帰ることができる。
- ④貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑤トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ（受信機能のあるもの）・ビデオカメラ・音楽再生機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥3000mSC及びやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑦三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。
- ⑧投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑨競技場での日傘の使用は禁止とする。ただし、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑩選手の本部への立ち入りを禁止とする。

25. 南関東大会の申し込みについて

各種目6位（走高跳・男子棒高跳は6位6名）まで、また混成競技・競歩競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投においては4位（女子棒高跳は4位4名）までの競技者は南関東大会の大会要項をTICにて受領すること。

- ・南関東大会申込締め切りおよび打合せ 5月24日（水） 10時30分（時間厳守）
- ・申込持参先 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室